

ジュニア育成アスリート等指定基準要綱

(2017年度・平成29年度版)

【目的】

- 1 この基準要綱は、公益社団法人日本ライフル射撃協会(以下「協会」という)が、2020年以降の射撃競技国際競技大会に於いて、メダルを獲得し得る選手の強化を図る為、発掘・ジュニア育成・強化する為に必要な基準となる事項を定めることを目的とする。

【用語の定義】

- 2 この要綱で使用する用語の定義を次のように定める。
 - 2-1
 - 2-1-1 「育成アスリート」とは2020年以降日本を代表し、国際競技大会に於いてメダルを獲得し得る選手の育成アスリートを図る為に指定された選手のことをいう。
 - 2-1-2 「育成アスリート」は、ジュニア育成アスリート委員会の指定を受け、活動を行う。
 - 2-1-3 「育成アスリート」は、日本を代表する国際的な競技力を備える為、人格見識及び射撃技術の習得に旺盛な向上心を有し、恒常的かつ継続に努力する選手をいう。
 - 2-2 「育成アスリート」の指定対象期間
 - 2-2-1 指定された当該年度(4月1日から3月31日)とする。
 - 2-2-2 前年度末日で、NTランキングにおいて、各カテゴリーの基準点をクリアしている選手は、本年度の申請ができる。(国際試合1年、国内試合8ヶ月)
 - 2-3 「育成アスリート」のカテゴリーを5つに分類する。(表1)
 - 2-3-1 年齢別(指導体系別)に分類し、年齢はISSFルールにより各年末日の満年齢とする。
 - 2-3-2 強化の重点は、U30>U22>U18>U15>U12の順とする。
 - 2-4 ジュニア育成アスリート委員会
 - 2-4-1 委員長が NRAJ 認定コーチ、日本学生ライフル射撃連盟理事、高校部会常任委員から委員を指名し、理事会で承認されたメンバーによって構成する。
 - 2-4-2 ジュニア育成アスリート委員会は、委員長の方針に沿って、ジュニア育成アスリートの指定および国際試合の派遣選手を選出し理事会で承認されたメンバーを派遣する。
 - 2-5 「ジュニア育成コーチ」について
 - 2-5-1 ジュニア育成アスリート委員会の方針のもと、ナショナル専任コーチングディレクターのノウハウを活用し「育成アスリート」の発掘・ジュニア育成・強化にあたるコーチをジュニア育成アスリート委員会が指名する。
 - 2-5-2 NRAJ認定コーチC級以上の資格を取得していること。
 - 2-5-3 年少者の指導に当たるため、自ら銃を所持し、射撃指導員の資格を有する者。
 - 2-6 「ブロック」について
 - 2-6-1 全国を5分割(北海道&東北・関東・中部・西日本・九州)してブロックを構成する。
 - 2-6-2 ブロックの配置は<表2>の通りとする。
 - 2-6-3 ジュニア育成コーチはブロック毎にジュニア育成対象となる選手を把握し、強化(発掘・ジュニア育成)の計画を立案し、事業を実施する。

【対象種目】

- 3 育成アスリートの指定対象とする競技種目は以下の通りとする。
 - 3-1 オリンピック種目

【選手の指定】

- 4 各カテゴリー基準点を2回クリアした選手本人(未成年の場合は保護者または指導者)からの申請により、ジュニア育成アスリート委員会が条件を満たすこと確認して指定し、理事会へ報告する。

人数枠は設けない。(カテゴリー区分における条件は〈表1〉の通り)

- 4-1 未成年の育成アスリートにあたっては、申請の際に保護者の同意書を提出する。
- 4-2 育成アスリートがNTに指定された場合でも、年齢の枠内であれば、継続してジュニア育成アスリートとして同時に指定する。
- 4-3 指定条件
 - 4-3-1 2020年東京オリンピック以降のオリンピックにおいて、メダル獲得を目標として競技継続の意思のある選手。
 - 4-3-2 高校生以上の選手は、週5日以上(合宿・出場試合日含む)の練習環境を確保できる選手。(週2回以上射撃分析装置などを利用しての空撃ち練習、フィジカルトレーニング、メンタルトレーニングなどの実施日を含め、週5日以上、強化の為に真剣に射撃に取り組めること)NTランキング表における点数が各カテゴリーの基準点〈表5〉を2回以上超えている選手。
 - 4-3-3 中学生は月6日以上、小学生は月4日以上の練習環境を確保できる選手。
 - 4-3-4 高校生以上の選手はNT選考会(ピストルは全国ピストル春夏秋冬大会)を1回以上含む、NT選考対象試合への出場3回以上を必須条件とし、NTランキング表における点数が各カテゴリーの基準点〈表5〉を2回以上超えている選手。
 - 4-3-5 中学生は全日本中学生選手権大会への出場が条件で、ヤングスターランクリストを含む日ラランキング対象試合で基準点を1回以上超えている選手。
 - 4-3-6 小学生は全日本小学生選手権大会への出場が条件。

【国際大会等への選手派遣】

- 5 ジュニア育成アスリート委員会は、各年度内に開催される国際大会へ育成アスリートの中から選出し、理事会の承認を得て派遣する。年度当初等、育成アスリートが派遣人数に満たない場合は、NTランキング(ジュニア育成ランキング)の上位から選出することができる。NTランキング対象試合3試合以上出場した選手を優先し、NTランキングによっても派遣人数が満たない場合はジュニア育成ランキング対象試合に出場した選手から選出することができる。
 - 5-1 派遣条件
 - 5-1-1 当該種目の銃を自ら所持している選手
 - 5-1-2 当該種目の省庁銃を使用している選手
 - 5-1-3 中学生は当該種目の年少射撃資格を保持している選手
 - 5-2 選手派遣する国際大会は(表4)の通りとする。
 - 5-3 国際大会等への選手選考方法
 - 5-3-1 派遣対象試合別に、派遣目的と選考対象試合(派遣6週間前を目安とする)を明確にし、日本ライフル射撃協会のWEBサイト上にて公開する。
 - 5-3-2 派遣目的別に、対象者となる育成アスリートをカテゴリー別にリストアップする。
 - 5-3-3 リストアップ選手の中から、選考期限時点でのNTランキング(ジュニア育成ランキング)上位より選出する。
 - 5-3-4 ワールドカップ、国際エアガン、世界大学選手権、ジュニアワールドカップについては、各大会の選考会上位者から選考する。〈表4〉参照
 - 5-4 派遣目的、派遣人数、選考期限については、日本ライフル射撃協会のWEBサイト上で公開する。エリートアカデミー所属選手に関してはエリートアカデミー選手対象予算の枠内で選出し理事会の承認を得た上で派遣する。
 - 5-4-1 現地安全状況、予算状況に応じて派遣試合の追加や、派遣を見送る場合がある。

【育成合宿】

- 6. 育成合宿の開催
 - 6-1 育成合宿は「中央合宿」と「ブロック合宿」に分かれる。

- 6-2 中央合宿
- 6-2-1 合宿においては、最新の情報(フィジカル、テクニカル、メンタル、アンチドーピング、栄養学等)を学び、選手同士で競い合う環境を提供し、射撃競技総合力の強化・向上を行うことを目的とする。
- 6-2-2 参加選手は、育成アスリートの中から、ジュニア育成アスリート委員会が合宿の目的別に指定し、予算枠内で人数を決定し招集する。
- 6-2-3 ライフル、ピストル合同、もしくは分かれて実施する。
- 6-3 ブロック合宿
- 6-3-1 合宿においては、各ブロックのジュニア育成コーチがジュニア育成アスリート委員会の方針に沿って立てた計画に基づき、技術指導(フィジカル、テクニック、メンタル)および、普段の練習方法などについて指導を行うことを目的とする。
- 6-3-2 参加選手は、ジュニア育成アスリート委員会の方針に沿って各ブロックのジュニア育成コーチが、合宿の目的、ブロックのジュニア育成・強化状況に応じてルールを定め、ジュニア育成アスリートおよび候補選手を指名し予算枠内で人数を決定し招集する。
- 6-3-3 候補選手については、各ブロックのジュニア育成コーチの推薦により決定する。

【育成アスリートの義務】

- 7. 育成アスリートは以下の事項についてジュニア育成アスリート委員会の求めに応じなければならない。
- 7-1 練習および大会出場計画書の作成と提示
- 7-2 ジュニア育成コーチ指定の練習メニューの履行とフィードバック
- 7-3 大会出場記録、練習実施記録の提出
- 7-4 国際大会出場時のレポート
- 7-5 その他の資料の提出

【育成アスリートの資格停止】

- 8 以下の事項に該当するものは、育成アスリートの資格を停止するものとする。
この処置は、即時実施される。
- 8-1 ジュニア育成アスリート委員会の指導方針に反して故意に反発した者、もしくは合宿・遠征等の活動に関して、ジュニア育成アスリート委員会の評価に満たなかった者。
- 8-2 ジュニア育成アスリート事業の目的に沿わない行動を意図的に取り、是正の求めに応じない者。
- 8-3 競技者資格規定に反する者。
- 8-4 アンチドーピング規定に違反し競技者資格を停止された者。
- 8-5 アンチドーピング規定に定める居場所情報提出義務を怠り、競技外検査を過去18か月間に2回忌避したとみなされている者。
- 8-6 ジュニア育成アスリート指定条件を維持できなくなった者。
- 8-7 ジュニア育成アスリート事業に優先的に参加しない者。

【ジュニア育成コーチの国際大会等への派遣】

- 9 ジュニア育成アスリート委員会は各年度に開催される国際大会へ、ジュニア育成コーチの中から選出し、理事会の承認を得て派遣する。
- 9-1 ジュニア育成コーチを派遣する国際大会は(表4)の通りとする。
- 9-2 国際大会別に派遣枠を決め、派遣目的別に対象者をジュニア育成コーチからリストアップする。
- 9-3 リストアップしたジュニア育成コーチの中から、エントリー期限時点での以下の1-5優先条件により、派遣の可否を本人に事前調整する。
- 9-4 優先条件
- 9-4-1 ジュニア育成コーチのうち、A>B>Cの順で優先する。
- 9-4-2 認定資格が同レベルの場合、上位資格(ISSFコーチアカデミー修了者>JOCNCA修了者)保持者を優先する。
- 9-4-3 上位条件同レベルの場合、国際大会帯同経験回数(NT選手等海外派遣回数含む)の多い順で優先する。
- 9-4-4 上位条件同レベルの場合、TOEIC点数の高いコーチを優先する。

9-4-5 上記以外に、認定コーチジュニア育成目的で派遣目的に合わせて参加選手所属チームの認定コーチ等、国際大会帯同経験の少ないコーチを派遣することがある。

【国際大会へ派遣されたジュニア育成コーチ(以下、コーチ)の義務】

10 派遣されたコーチは以下の事項について必ず対応しなければならない。

10-1 派遣における事前情報収集と派遣メンバーへの情報共有。

10-2 派遣における行動規範の順守と安全な渡航の履行。

10-3 国際射撃関連情報の収集と大会出場選手記録の取り纏め及びレポート、総括報告書等の提出。

10-4 大会出場時の記録写真撮影ならびに機関誌「ライフルスポーツ」掲載記事作成。

10-5 大会にかかる費用の精算業務。

【国際大会へ派遣されるジュニア育成コーチ(以下、コーチ)の費用負担等】

11 国際大会において活動する際にかかる費用については以下の通りとする。

11-1 国際大会において活動する際にコーチが着用するチームジャージは協会が費用を負担し作製した上で本人へ貸与する。自己負担する場合は支給する。

11-2 国際大会派遣期間中にコーチ活動についてかかる渡航費(協会手配)、宿泊費、規程の国内外交通費、現地活動にかかる日当(食事補助)、謝金(移動日を除く)は協会規定の範囲で支給する。規程外の費用については自己負担が発生することがある。

11-3 国際大会派遣準備にかかる費用(パスポート取得費用、スーツケース購入、荷物輸送の際の宅配便費用等)については自己負担とする。

【特別処置】

12 特別処置

12-1 本要綱に定められていない事項について、特別処置をもって国際試合への派遣、海外合宿等を実施する場合、緊急性、重要性をジュニア育成アスリート委員会として取りまとめ、委員長の承認を持って対応することができる。理事会へは事後に報告し承認を得る。

【要綱の改訂】

13 要綱の改訂

13-1 本要綱に改訂の必要が生じた場合は、日本ライフル射撃協会理事会の承認を得て改訂することができる。

13-2 本要綱は、ジュニア育成アスリート委員会が作成し、日本ライフル射撃協会理事会の承認を得て公開する。

付則 本要綱は、平成29年9月16日から実施される。

〈表1〉 カテゴリー区分

カテゴリー			指定条件		
			必須出場	指定試合出場	練習回数 (試合含む)
U30	30歳以下	社会人	R:NT 選考会または全日本・全日本選抜 1 回以上 P:NT 選考会または全国 P 春夏秋冬を 1 回以上	3 回以上	週 5 日以上
U22	22歳以下	大学生・社会人			
U18	18歳以下	高校生			
U15	15歳以下	中学生	全日本中学生選手権またはヤングスターランクリスト	1回以上	月6日以上
U12	12歳以下	小学生	全日本小学生選手権またはヤングスターランクリスト	1回以上	月4日以上

〈表2〉 ジュニア育成ブロック

東日本ブロック	北海道、東北 6 県
関東ブロック	関東 7 都県
中部ブロック	東海 4 県、北信越 5 県
西日本ブロック	近畿 6 府県・中国 5 県・四国 4 県
九州ブロック	九州 8 県

〈表3〉 ジュニア育成アスリート指定対象試合(ジュニア育成ランキング対象)

		ライフル	ピストル
①	国際大会(NT/ジュニア育成選手として出場した大会)	○	○
②	全日本選手権大会	○	○
③	全日本選抜大会	○	○
④	ライフル NT選考会(4回)	○	
⑤	ピストル NT 選考会(4回)		○
⑥	全国ピストル競技大会(春夏秋冬)計4回		○
⑦	全日本学生スポーツ射撃選手権大会/男子女子	○	○
⑧	全日本学生選抜ライフル射撃競技大会	○	○
⑨	全国高等学校ライフル射撃選手権大会	○	
⑩	全国高等学校ライフル射撃選抜大会	○	
⑪	全国学生・生徒エアピストル射撃競技大会		○
⑫	全日本中学生ライフル射撃選手権大会	○	○
⑬	全日本小学生ライフル射撃選手権大会	○	○
⑭	ジュニアオリンピックカップ	○	○
⑮	愛媛国体	○	
⑯	福井しあわせ元気国体プレ大会	○	
⑰	ジュニアエアガン大会	○	○
⑱	ヤングスターランクリスト(小・中学生)	○	○

ダブルマッチ大会は 2 試合とカウントする

NT選考会(ピストルは全国ピストル大会含む)のいずれかを含む 3 回以上の試合に出場すること。

NT選考対象試合の上位 3 回の平均でランキングを作成する。日ラホームページにて更新する。

NTランキングは国際大会の結果が 1 年間有効、国内大会の結果が 8 か月間有効である。

詳細はナショナルチーム編成基準要綱(平成 29 年度版)を確認すること。

<表4> 派遣予定の国際大会への選手選考対象競技会を以下の通り設定する。(EA はエリートアカデミーの略)

開催月	大会名	対象試合	選考方法	対象
5月	ワールドカップ(ドイツ)	R:P10m3月全日本選手権 R:50m4月全日本選抜 P:50m25m3月NT選考会	選考会	U30・U22
6月	ワールドカップ(アゼルバイジャン)	R:4月NT選考会(2回目) P:3月全日本選手権 P:50m25m派遣なし	選考会	U30・U22
6月	ジュニア世界選手権(ドイツ)	R:4月NT選考会迄 P:5月春季ピストル迄	JTT ランキング	ジュニア
8月	東アジアユースエアガン大会(長崎)	R:7月NT選考会(2回目) P:6月全国学生生徒 AP	選考会	ユース(大学生を除く)
12月	アジアエアガン選手権(埼玉)	ジュニアエアガン大会まで	JTT ランキング	ジュニア・ユース・EA
1月	国際エアガン(ドイツ)	10月全日本選抜大会	選考会	U18・EA
1月	欧州エアガン(オーストリア他)	アジアエアガン選手権(埼玉)まで	JTT ランキング	U30・U15・EA
3月	ワールドカップ(メキシコ)	R:11月NT選考会 P:11月秋季ピストル	選考会	U30・U22
3月	世界大学射撃選手権(マレーシア)	10月全日本学生選手権 10m>50m(選考優先順位)	選考会	ユニバ (大学生のみ対象)
3月	ジュニアワールドカップ(オーストラリア)	12月派遣選手選考会(未定)	選考会	ジュニア・EA

※国際ルール出場資格:大会が開催される年の12月31日の満年齢が以下の通りであること。

- ・ ジュニア種目は20歳以下

- ・ ユース種目は15歳から18歳以下

※2017年12月アジアエアガンは2017年12/31時点で14歳~17歳

- ・ ユニバ種目は大会が開催される年の1月1日現在、17歳以上28歳未満であること。

なおかつ、平成29年度大学生在学中で日本国籍を有する選手。

〈表5〉 カテゴリー区分と基準点

ライフル種目

カテゴリー		10m 60M	10m 40W	50m 3×40M	50m P60M	50m 3×20W	目標	事業内容
NT H 基準 (参考)		625.0	415.5	1165	620.9	579	—	—
U30	30 歳 以下	621.0	414.0	1156	620.0	578	NT 2020 東京五輪 メダル獲得	NT合宿派遣 国際大会派遣 世代別合宿
U22	22 歳 以下	619.5	413.0	1152	618.0	576	NT/ 世界大学 メダル	—
	20 歳 以下	618.0	412.0	1150	616.0	575		
U18	18 歳	615.0	410.0	—	—	—	2018 YOG メダル	JWC/ JWCH メダル
	17 歳	612.0	408.0					
	16 歳	609.0	406.0					
U15	13 歳 以上 15 歳 以下	510 (整数値)	340 (整数値)	—	—	—		
U12	10 歳 以上 12 歳 以下	空気銃 年少射撃 資格取得者					2022 YOG メダル	世代別合宿 研修会 練習会

ピストル種目

カテゴリー		AP60M	AP40W	50m ピストル	25m ピストル	RFP	目標		事業内容
NT H 基準 (参考)		578	382	558	579	578	—		—
U30	30 歳 以下	573	378	552	576	570	NT 2020 東京 OG メダル獲得		NT合宿へ派遣 国際大会派遣 世代別合宿
U22	22 歳 以下	566	375	546	570	564	NT 2017 ユニバ メダル	—	国際大会派遣 世代別合宿
	20 歳 以下	560	372	540	564	558			
U18	18 歳	552	368	—	—	—		2018 YOG メダル	
	17 歳	543	360						
	16 歳	534	356						
U15	13 歳 以上 15 歳 以下	510	340	—	—	—	2018 YOG メダル	JWC/ JWCH メダル	国際大会派遣 世代別合宿 研修会 練習会
U12	10 歳 以上 12 歳 以下	空気けん銃 年少射撃 資格取得者		—	—	—	2022 YOG メダル	—	国際大会派遣 世代別合宿 研修会 練習会

※ NT: National Team

OG: Olympic Games YOG : Youth Olympic Games JWC : ISSF junior World Cup